

実施体制

本事業を円滑に推進するための実施体制として、県内3大学、岡山県など6自治体及び県内の企業等12団体の事業協働機関による「吉備の杜」創造戦略プロジェクトメンバーシップを設置し、「おかやま地方創生プラットフォーム」との連携等、産学官民が一体となってプロジェクトに取り組みます。

当メンバーシップには、最も重要な活動と位置付けられる「教育プログラム構築」に関する審議機関となる「吉備の杜」創造戦略プロジェクト教育プログラム開発委員会、及び外部者による本事業の評価を行う「吉備の杜」創造戦略プロジェクト外部評価委員会を設置し、継続性の高いPDCAサイクルを実施します。

さらに、岡山県立大学内に「吉備の杜」創造戦略プロジェクト推進本部を設置し、事業の実施に関する学内の意思決定を担い、具体的な企画立案等を担う「吉備の杜」創造戦略プロジェクト企画委員会、事業の全体調整・総合窓口等を行う「吉備の杜推進室」を設置し、岡山県立大学が本事業の代表として事業を推進します。

「吉備の杜」創造戦略プロジェクトメンバーシップ

「産業人材」を養成する仕組みについて協議する。

大 学	岡山県立大学・ノートルダム清心女子大学・中国学園大学
自治体	岡山県・真庭市・総社市・備前市・赤磐市・笠岡市
企業等	中国銀行・山陽新聞社・RSK山陽放送・おかやまコープ・岡山県立大学協会・岡山県食品新技術応用研究会・システムエンジニアリング岡山・岡山県建築士事務所協会・岡山県経済団体連絡協議会・トマト銀行・岡山県中小企業家同友会・岡山県産業振興財団

(順不同)

「吉備の杜」創造戦略プロジェクト教育プログラム開発委員会

業種ごとに必要とされる能力と、業種の枠を超えた産業人材として必要な能力に分けて4つの部会を設け、教育プログラムの開発について協議する。

「食と栄養と健康を 温め羅ねる杜」部会

岡山県立大学
ノートルダム清心女子大学
中国学園大学
岡山県
総社市
赤磐市
おかやまコープ
岡山県食品新技術応用研究会

「地域のICT技術を 温め羅ねる杜」部会

岡山県立大学
岡山県
岡山県立大学協会
システムエンジニアリング岡山

「森と建築と匠を 温め羅ねる杜」部会

岡山県立大学
岡山県
真庭市
岡山県建築士事務所協会

「業種の枠を超えた産業人材 として必要な能力」部会

岡山県立大学
ノートルダム清心女子大学
中国学園大学
岡山県
笠岡市
備前市
赤磐市
中国銀行
山陽新聞社
RSK山陽放送
岡山県経済団体連絡協議会

お問い合わせ

「吉備の杜」推進室 [代表校：岡山県立大学]

〒719-1197 岡山県総社市窪木111 TEL.0866-94-2205 FAX.0866-94-9105 E-mail.kibinomori@oka-pu.ac.jp

「吉備の杜」創造戦略プロジェクト





夢とロマンを持って育てよう「吉備の杜」 ～雑草型人材育成を目指して～

プロジェクト推進本部長 岡山県立大学学長 沖 陽子

2021年4月より「吉備の杜」創造戦略プロジェクト（COC+R）が始動します。学部1～3年次生にCOC+の成果を「岡山創生学課程」として改変し、新たに3～4年次生に「吉備の杜クリエイター課程」、大学院生に「吉備の杜プロデューサー課程」を設け、3つの課程を合わせた副専攻「吉備の杜」として地方創生人材教育プログラムを充実させます。

目指す人材は持続可能な地域の未来を展望し、ヒューマンスキルと即戦力を身に付けた雑草型リーダー。雑草型人材とは雑草魂のみならず雑草のごとく、変化する環境への柔軟さと適応力を持ち合わせた人材です。そして高い専門性と幅広い人間力を備えた「T字型人材（横棒が幅広い人間力、縦棒が専門性の深さ）」の輩出が期待され、その結果、若者の地元定着と地域の活性化が図られます。

本プロジェクトの特長は、岡山県の産業特性と本学の学部・大学院構成にマッチした「サテライトプログラム」を用意し、大学、地域、企業が合体して課題解決型の演習を中心に進めていくこと。加えて、異分野の学外非常勤講師を迎えてリベラルアーツ教育を行う「研究科共通基盤科目」を導入していることです。

「吉備の杜」創造戦略プロジェクトメンバーシップ（事業協働機関）のみならず、本プロジェクトに賛同する大学・企業・団体にも参入して頂き、ご一緒に吉備の杜を豊かな杜に育てましょう。

“集えし！ピンチをチャンスとして受け止められる「発想の転換」が出来る若者よ。そして自ら考え行動することにわくわくする「主体性と行動力」を持つ若者よ”

「吉備の杜」創造戦略プロジェクトとは

企業×地域×大学の合体教育による雑草型人材育成

「県内産業発展に寄与できる人材」を出口（就職先企業）と一体になって育成するプログラムを構築します。

予測不可能で急速な変化が生じる未来社会において、多種多様な環境圧をバネにする未来型思考と地域力を有した「雑草型リーダー」を育成することにより「高い専門性と幅広い人間力に立脚した地方創生を担うたくましい人材」を輩出します。



事業の概要

事業目標	食と栄養と健康を温め羅ねる杜 (サテライトプログラム)
	「おかやま」の食資源を活用した食品の生産・加工・流通を通して、広く地域社会、国際社会で活躍できる食のスペシャリストの育成
	地域のICT技術を温め羅ねる杜 (サテライトプログラム)
	持続可能な地域「おかやま」の産業拡大に、安全・安心な知能化をもって寄与できる技術者の育成
	森と建築と匠を温め羅ねる杜 (サテライトプログラム)
	日本でも有数の木材産地「おかやま」の風土を活かして、心地良い住環境を生み出す能力を持つ設計者の育成
	大学院クロスセクション (大学院横断型)
	リベラルアーツ教育を行う研究科共通基盤科目で、業種の枠を超えた産業人材として必要な能力を育む

- 期待される効果**
- 予測不可能で急速な変化が生じる未来社会において、多種多様な環境圧をバネにする未来型思考と地域力を有した雑草型リーダーを育成
 - 「高い専門性と幅広い人間力に立脚した地方創生を担う逞しい人材」を輩出
 - 大学群、地方公共団体、企業等が連携・協働し、地域が必要とする産業人材を業界と一体となって教育し、「大学生や社会人の地元就職促進」に努め、「地域活性化」につなげる

— 温め羅ねる — 「吉備の杜」と「温羅」

古代、岡山県を中心とする地域は「吉備」と呼ばれており、異国から渡来してきた温羅（うら）がたたら製鉄や造船・製塩の技術を伝えたことによって繁栄に導いたとされています。そのことから温羅は吉備地方の統治者であったと伝えられています。

そして、時空を超えて、この地に緑豊かなキャンパスを営む私たちは、岡山を支え、地域に必要な中核人材を本事業により養成したいとの思いから、本事業を「吉備の杜」創造戦略プロジェクトと命名し、温羅の名にあやかって各教育プログラムを「温め羅ねる（あたたためつらねる）」ことにより、急速に変化する時代に対応できる人材を養成することとしました。

副専攻「吉備の杜」の学びとは

地域「おかやま」のフィールドにおいて、主体的に深める

本学では、学部低年次生を対象とした「岡山創生学課程」を既に開設しており、令和3年度から新たに学部高年次生を対象とした「吉備の杜クリエイター課程」と大学院生を対象とした「吉備の杜プロデューサー課程」がスタートします。また、各課程において所定の単位を修得すると、それぞれ「地域創生推進士」「地域創生クリエイター」「創造戦略プロデューサー」の称号が授与されます。

副専攻とは？

主専攻の専門教育以外の分野の知識や考え方を学ぶことで、専門教育を補完するだけでなく、大学での修学意識がより高められる制度です。ここでは、学部・学科、そして学内外の枠を超えた、地域・企業と協働した学びの中で、社会や環境の様々な変化に対応できる力を身に付けます。



学びの特徴

岡山県の産業特性を踏まえた3つのサテライトプログラムを開設し、地元の企業とともに実践的かつオーダーメイドの学びを実現します。また、大学院クロスセクションでは大学院横断型共通基盤科目として、多種多様な世界を学びます。

